

(3) 「よさ」を把握し、意識化させ、育てる指導—第二次実践における指導の手だてと児童の活動—

時	指導目標・内容	指導の手だ								
1	<p>●「よさ」の把握</p> <p>1. 「一まいの地図から」の「友達のエッセイ」を読み、想像して物語を作る時に必要な事柄について理解することができるようにさせる。</p> <p>2. 提示された物語「小さなリスの大旅行」を読み、前時学習で学んだ構想メモの項目に基づいて、物語を分析することができるようにさせる。</p>	<p>事前の「個のよさ」の把握 (前単元でとらえた「よさ」と本単元での診断から) ◎学習全般—性格・行動、学習全般、読書傾向</p> <p>◎国語科学習 ・学習の仕方 ・国語科学習の中の「よさ」 ・作文学習について ・構想について</p> <p>◎ジュクタビリティの要素を個人ごとにとらえたリーダーチャート</p> <p>※国語科学習中の「作文学習について」と「構想について」、ジュクタビリティについては、単元終了後「よさが生かされたか」という観点で変容を把握する。</p>								
2	<p>●「よさ」を生かす指導</p> <p>3. 題材を決定し、構想を練ることができるようにさせる。</p> <p>①集めてきた題材を紹介しあう。(4～5人の発表) 〔何をもとにして物語を作り、どんなことを言いたいのか〕</p> <p>②根拠を持った題材の選定をする。(主題意識の明確化)</p> <p>③主題メモ(題材名、中心になる出来事、主題)を書く。</p> <p>④主題メモについて教師と児童一人一人が話し合う。 ※児童の「よさ」を生かす助言をする。(題材そのものに対する興味・関心、主題に対する考え方、書き方等) ※主題メモについて納得できないものについては、題材と主題メモの見直しをさせる。</p>	<p>【作文学習についてのアンケート】</p> <p>次のことについてお答えください。No.1</p> <p>※自分が思うものを○でかきこまない。</p> <p>1. あなたは、作文の学習が好きですか。 ○大得意 ○好き ○ふつう ○あまり好きではない ○好きではない</p> <p>2. あなたは、細かい観点を持った構想表をもとじて作文を書いたことがありますか。 <input type="checkbox"/> いつもそうしている <input type="checkbox"/> ときどきそうしている <input type="checkbox"/> あまりそうしていない <input checked="" type="checkbox"/> ほとんどやっただけ <input type="checkbox"/> やったことがない</p> <p>次のことについてお答えください。No.2</p> <p>※「字面人の前編」の学習で、「自分のよいところ」をかきつけることができましたね。そのことをもとにして、次のことについて自分であはまるところに○をつけなさい。</p> <p>1. 書いてあることや人の話を <input type="checkbox"/> しっかりと理解できる。 <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>2. みんなの話題や問題について、はっきりと結論を出すことができる。 <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>3. 話し合いや書く活動の中で、自分なりの新しい考えを話したり書いたりすることができる。 <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>4. 物のようすや自分の考え、気持ちなどをいろいろな形で表すことができる。 <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>5. 人の話を聞いたことについてじっくりと考えることができる。 <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ</p>								
3	<p>※主題メモについて話し合った結果、教師の助言を得て児童が納得したものについては、構想表を作成することにさせる。</p> <p>4. 主題メモをもとに話し合う</p> <p>●主題メモ(題材名、中心になる出来事、主題)から考えられる物語のイメージをグループの中で話し合い、自分の持っているイメージを確かめ、広げることができるようにさせるとともに、物語の書き方について「自分のよさ」を生かすことができるようにさせる。 ・主題メモをもとにしてグループ分けをする。 ・グループの中で一人一人のイメージを出し合う。 ・物語の書き方について話し合う。</p> <p>構想を練る</p> <p>●構想の観点となる人物、場所、時代、あらすじ等をおさえ、主題メモに沿った構想を練ることができるようにさせる。</p> <p>・話し合って確かめ、広げたいイメージ、構想の観点に沿って構想表に書き込む。 ・構想表に示された観点の他に、自分なりに必要と思われる事柄を書き込めるようにさせる。 ・自分なりの書き方を記入できるようにさせる。 ※自分なりの見方や考え方や物語の書き方については「個のよさ」を生かすという観点でとらえる。 ※個人作業であるが、適宜グループ内で話し合いを持つようにさせる。</p>	<p>【題材設定によるグループ構成】</p> <table border="1"> <tr> <td>Y.S</td> <td>F.S</td> </tr> <tr> <td>○犬 ○犬がすごい ○いぼけんをした</td> <td>○タニシ ○メダカ ○生き物を大切に</td> </tr> <tr> <td>M.N</td> <td>U.S</td> </tr> <tr> <td>○ねこ</td> <td>○ピーマン ○すききらい ○いない人間になってほしい</td> </tr> </table> <p>【構想表の作成・活用】</p> <p>主題意識については、一人一人の考え方を尊重する。 ↓ 「個のよさ」</p> <p>構想表の主題メモの活用</p>	Y.S	F.S	○犬 ○犬がすごい ○いぼけんをした	○タニシ ○メダカ ○生き物を大切に	M.N	U.S	○ねこ	○ピーマン ○すききらい ○いない人間になってほしい
Y.S	F.S									
○犬 ○犬がすごい ○いぼけんをした	○タニシ ○メダカ ○生き物を大切に									
M.N	U.S									
○ねこ	○ピーマン ○すききらい ○いない人間になってほしい									
4	<p>5. グループの中で一人一人が練り上げた構想を出し合い、友達の見聞を聞き構想表の見直しができるようにさせる。</p> <p>●構想表に示された観点(基礎的・基本的な内容) ・自分なりの見方や考え方や物語の書き方(「個のよさ」を生かす観点) ※話し合いのポイントは、①題材からどのようにイメージを広げようか、という書き方を考えるか、②自分なりの見方や考え方が表れているか、という点に絞る。 ・話し合いをもとにして、自分の構想を見直す。</p> <p>物語を作る</p> <p>●構想表に従って、物語を作ることができるようにさせる。 ・書き出しを吟味し、読者の立場に立った書き方を工夫する。 ・登場人物の言葉や行動については、これまで読んだ作品の表現を参考にして記述する。 ※書き出しでつまづいている児童、記述の中で構想が揺れ動いている児童など、個に応じた指導や相談にあたる。 ※「基礎的・基本的な内容」としてとらえている観点から文章が書かれているか、また、「個のよさ」としてとらえた観点が生かされているか、ということについて一人一人チェックしていく。 ・グループの中で、お互いに読み合ったり話し合ったりしながら構想表の観点に沿って良いところ、直したいところを指摘しあう。 ・構想表の観点と作品を照らし合わせ、自己チェック欄に記入する。</p>	<p>湖の底の国</p> <p>湖の底に国がある。そこには、いろいろな生き物が住んでいる。その国には、大きな山と、きれいな川と、おいしい食べ物がある。みんなが楽しく暮らしている。でも、最近、湖の水が汚れてきた。みんなが心配している。どうしたらいいか、みんなで考えよう。</p> <p>湖の底の国</p> <p>湖の底に国がある。そこには、いろいろな生き物が住んでいる。その国には、大きな山と、きれいな川と、おいしい食べ物がある。みんなが楽しく暮らしている。でも、最近、湖の水が汚れてきた。みんなが心配している。どうしたらいいか、みんなで考えよう。</p>								
5	<p>6. 作品をグループの中で読み合う</p> <p>●グループの中でお互いの作品と構想表を照らし合わせながら読み合い、グループの一人一人に対して、ア. 作品に対する感想、イ. 構想表の観点と作品との対応(基礎的・基本的な内容)、ウ. 自分なりの見方や考え方や物語の書き方(「個のよさ」)についてコメントすることができるようにさせる。 ・自分の作品に対して、ア、イ、ウの観点についてコメントする。 ・グループの一人一人の作品を構想表と照らし合わせながら読み合う。 ・一人一人の作品に対して、ア、イ、ウの観点についてコメントする。 ・観点について話し合い、コメントを付け加えてまとめる。 ※教師のコメントは一人一人の作品が集まった時点で記入するようにする。</p> <p>7. 二～三の作品をもとにして全体で読み合う</p> <p>↓</p> <p>グループごとに作品及び学習記録のまとめをする</p>	<p>全友達の作品を読んで、「よいところ」をたくさんみつめてあげよう。</p> <p>【「よさ」発見カード】</p> <table border="1"> <tr> <td>書いたあとの感想</td> <td>(6)グループ 名前 F.Sさん</td> </tr> <tr> <td>ア. 作品に対する感想</td> <td>とても面白い物語だった</td> </tr> <tr> <td>イ. 構想表の観点と作品がよく表れているか</td> <td>あらすじが物語の中にとけよく表れている</td> </tr> <tr> <td>ウ. あなたの見方や考え方や物語の書き方が作品によく表れているか</td> <td>文字は動植物がすてきなとよくわかった</td> </tr> </table>	書いたあとの感想	(6)グループ 名前 F.Sさん	ア. 作品に対する感想	とても面白い物語だった	イ. 構想表の観点と作品がよく表れているか	あらすじが物語の中にとけよく表れている	ウ. あなたの見方や考え方や物語の書き方が作品によく表れているか	文字は動植物がすてきなとよくわかった
書いたあとの感想	(6)グループ 名前 F.Sさん									
ア. 作品に対する感想	とても面白い物語だった									
イ. 構想表の観点と作品がよく表れているか	あらすじが物語の中にとけよく表れている									
ウ. あなたの見方や考え方や物語の書き方が作品によく表れているか	文字は動植物がすてきなとよくわかった									
6	<p>8. 「よさ」の意識化</p> <p>9. 二～三の作品をもとにして全体で読み合う</p> <p>↓</p> <p>グループごとに作品及び学習記録のまとめをする</p>									